



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年5月11日 第13号

発行者：校長 菅野 定行

将棋部 ～県ベスト16～



支部総体の最中ですが、文化部からも西高生の活躍の様子が届きました。昨年は武山秀文先輩が県3位で全国大会に進みましたが、今年も3年生の高橋蓮さんが県大会ベスト16に進出しました。将棋部も着実に伝統を築いています。

○3年4組 高橋 蓮 さん

今回私は5月4日に仙台一高で行われた「全国高校将棋選手権宮城県大会」のC級トーナメント戦に出場してきました。私にとって初めての大会だったためとても緊張していました。あまり勝ち負けは意識せず、良い内容の将棋が指せれば良いという気持ちで臨みました。結果として4勝2敗で95人中16位という結果でした。勝てた試合は良い差し回しでしたが、負けた試合は内容的にも良くありませんでした。

他校の生徒と対局ができてとても勉強になりました。今回の反省を生かし、次の大会に向けて頑張りたいと思います。

貢献活動 ～青い鯉のぼりプロジェクト～



運動部や文化部がGW中に活躍している頃、ボランティア活動を行っている西高生もいました。

○3年1組 高橋 ころろ さん

5月5日に青い鯉のぼりプロジェクトに参加しました。出店の売り子や東松島市のパンフレットを配るボランティアをしました。空を泳ぐたくさんの鯉のぼりを見て西高の先輩が震災で亡くなった弟さんへの思いを行動に移し、全国規模の大きなプロジェクトとなったということを実感してとても感動しました。皆さんの中でもほとんどの人が青い鯉のぼりプロジェクトという活動があることは知っていたと思います。では、主催者である伊藤健人先輩が西高出身だということは知っていましたか？健人先輩は毎年、西高にボランティアのお声をかけてくださいます。尊敬する西高の先輩の元で復興に携われることがとてもうれしくやりがいのあるボランティアです。また、震災や他の地域の方々との絆について深く考えることができるきっかけにもなります。少しでも興味のある人はぜひ参加してみてください。

総体壮行式 ～無限の可能性～

本校卒業生、鈴木遼太郎君は地元の公立高校から大学を経て自らの力を伸ばし、プロ球団から指名を受けました。ごく当たり前の環境から夢を描き、自己の能力を最大限に発揮してスポーツ界の最高峰へ進んだこととなります。彼を育てた西高は生徒をどんどん成長させる環境だな、とこの2ヶ月で感じています。学習も部活動も行事への取り組みも伸び伸びとやっています。この「伸び伸び」がいいですね。生徒諸君が主体的に考え、動くゆとりがありますね。

私は教諭時代、フェンシングを指導していました。何度か勝つ喜びを味わうことができましたが、勝つ喜び以上に驚かされたことがあります。生徒たちは無限の可能性を秘めているということです。「そうしてそんなプレーができるの!」「どうしてそんなに粘れるの!」こちらが想像した以上のパフォーマンスを見せてくれる生徒たちにたくさん出会えました。選手たちが自信をつけ、伸び伸びとプレーする姿は教員にとって本当に嬉しいものです。

君たちも自分のパフォーマンスに限界を設定しないでください。素晴らしいプレーで先生方や仲間たちを驚かせ、そして感動させてください。期待しています。